

医療安全全国共同行動
行動目標6 急変時の迅速対応



第1回 Rapid Response System
(RRS) ワークショップ

患者を守る!!
急変しても早く気づき、必ず生還させるために・・

冒頭あいさつ

帝京大学医学部救急医学

坂本 哲也

司会・進行

日本臨床救急医学会院内救急対応システム検討委員会委員長
東京医科大学救急医学

太田 祥一

導入講義

全国共同行動・事例紹介

RRS概要

RRS導入のための準備

RRSの起動基準

RRSの4つのコンポーネント

グループワーキング

総合討論

日時 2012年3月25日(日)
13:00~17:00

会場

神戸大学医学部附属病院
新緑会館 多目的ホール

参加費:1,000円

対象:医師・看護師・コメディ
カル・医療安全に関わっ
ている方 50名前後

講師・ファシリテーター

日本臨床救急医学会
院内救急対応システム検討委員会
聖マリアンナ医科大学 児玉貴光
東京ベイ・浦安市川医療センター
藤谷茂樹

ほか

帝京大学
名古屋大学
神戸大学

坂本哲也
高橋英夫
川嶋隆久

問い合わせ

神戸大学病院救急部 川嶋隆久

TEL 078-382-6521

kawasima@med.kobe-u.ac.jp

主催:医療安全全国共同行動

共催:日本臨床救急医学会

院内救急対応システム検討委員会

後援:日本救急医学会

神戸大学病院